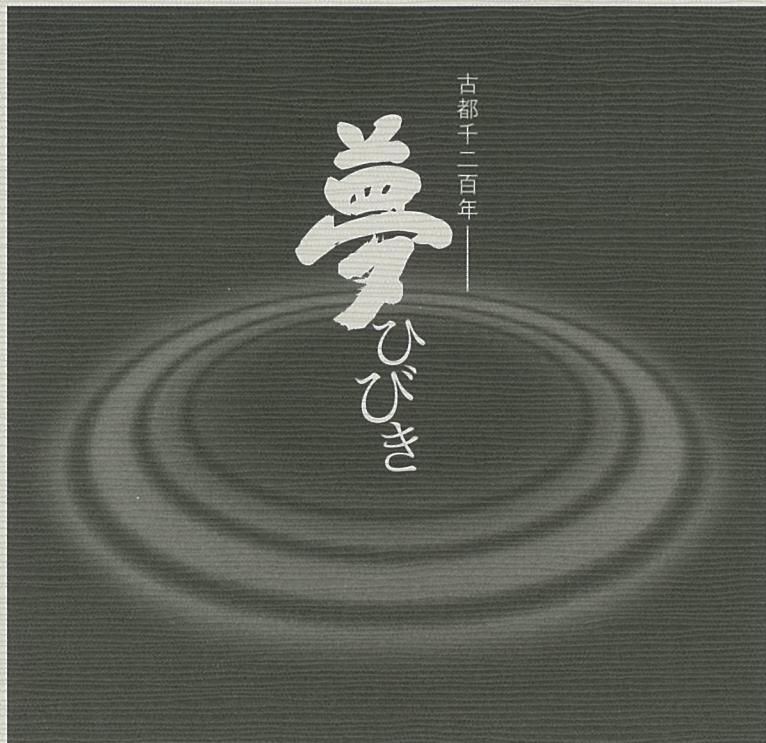


# ►第2回京都デザイン協会 文化ナイトフォーラム サウンドスケープ in 東山・高台寺 奉納演奏



京都東山のふもと高台寺には  
豊臣秀吉と  
その夫人北政所ねねが  
伸むつまじく静かに  
並んで座っている  
ここは北政所が  
亡き秀吉の菩提をとむらうため  
その生命の最期まで  
祈りつけた寺院である  
小堀遠州の庭園や  
華麗な金蒔絵の花篠文様や  
千利休の茶室など  
桃山時代の夢を今に伝え  
二人は静寂のなかに  
禅僧に見守られて眠っている

社团法人京都デザイン協会は、このたび昨年に引きづき「文化ナイトフォーラム」第二弾としたしまして「サウンドスケープ in 東山・高台寺」を開催する運びとなりました。この催しは東山・高台寺のご協力を得て、普段、けっして拝観できない夜の高台寺境内に、ピアノ、尺八によるジャズ演奏と光の空間を創出いたします。  
お知り合いお誘い合わせのうえご参加くださいま  
すようお知らせ致します。

とき●平成五年十一月十三日（土）午後五時一七時

ところ●東山・高台寺（方丈）  
協賛金●ひと口五千円

プログラム●法話／後藤正元 高台寺執事長

奉納演奏／対偶（たいぐう）

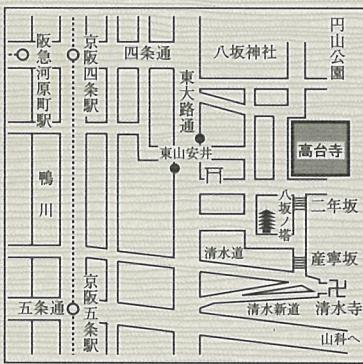
西山靖夫（ピアノ）

川村泰山（尺八）

主催●社团法人京都デザイン協会  
協賛●高台寺

財団法人平安建都千二百年記念協会  
街の色研究会・京都／京都若衆会  
問い合わせ●お申し込み先●

社团法人京都デザイン協会 事務局  
京都市東山区祇園町北側275 ABL三階  
電話075-541-1023九



ご案内

# 東山・高台寺の境内で繰り広げる 光と音楽のパフォーマンス。

第二回(社)京都デザイン協会主催  
文化ナイトフォーラム

## サウンドスケープ in 高台寺

### 桃山文化の香り高い高台寺。

(社)京都デザイン協会が主催する今回の「サウンドスケープ in 高台寺」は、昨年の秋、夜の三千院で大好評をいただいた文化ナイトフォーラムの第二弾です。

古都千二百年――

# 夢ひびき

## 奉納演奏

### 高台寺に新しいデザイン空間を創出します。

(社)京都デザイン協会では、京都の伝統と未来を独自の切り口でとらえ、新しい創生への情報発信となる活動をおこなっています。その一環として企画されたのが文化ナイトフォーラムです。まちづくりの基本を自然と人のかかわりに求め、そこにある風景も、音も、暮らしもすべてデザインと考え、京都千二百年の伝統と新しい文化の創出エネルギーを、総合的な立場から表現しようという試みに挑戦いたします。今回は、高台寺の全面的なご協力により、京都のゆたかな自然環境と歴史的文化財の代表地で、尺八とピアノによる幽玄なジャズによって新しいデザイン空間を創りあげます。

### 尺八とピアノが奏てる幽玄なジャズの宵。

日本の伝統楽器の代表ともいえる尺八と、ヨーロッパの歴史のなかで生まれ育ったピアノ。この一見特異なアンサンブルが繰り広げる音楽は、邦楽と洋楽の枠をはるかに越えた新しい音楽。邦楽器と西洋楽器の巧みなブレンドが心地よさを与えてくれます。

尺八とピアノのデュオとして注目を浴びる「対偶(たいぐう)」が

高台寺境内で繰り広げる、光と幽玄なジャズ演奏を中心くまでお楽しみください。

●平成五年十一月十三日(土)  
午後五時(七時まで「雨天開催」)

●東山・高台寺(方丈)  
●ひと口五千円  
●法話／後藤正元 高台寺執事長  
●奉納演奏／対偶(たいぐう)  
●西山靖夫(ピアノ)  
川村泰山(尺八)

●協賛  
●金  
●プログラム  
●

第二回京都デザイン協会 文化ナイトフォーラム サウンドスケープ in 高台寺

京都新聞 1993年11月7日 (日)

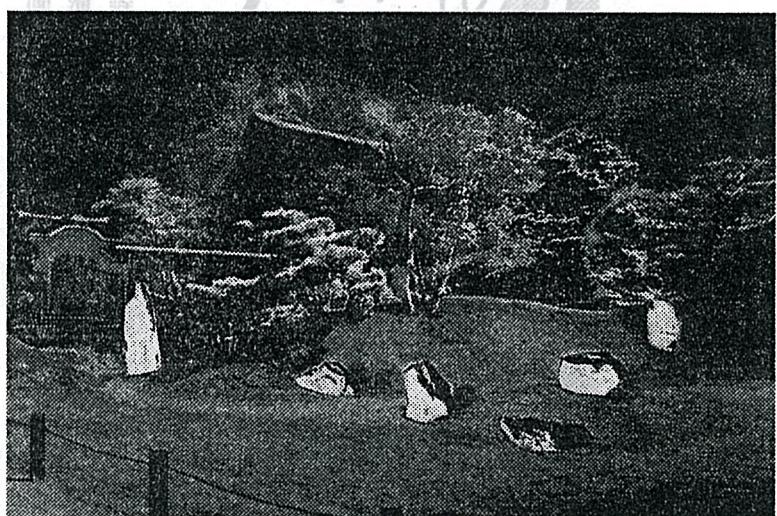
# 高台寺に光のもてなし空間を

## 紅葉、松間に浮かばせ 禅寺の幽玄美演出

同協会が昨年から開いて  
いる「文化ナイトフォーラム」第二弾、名付けて「サ  
ウンドスケープ in 東山・高台寺—夢ひびき」。同寺は現在、豊臣秀吉と  
北政所をまつる靈屋の修復工事を進めており、完成の  
来年三月から一ヶ月半、夜トアップで京都らしい照明

間探照を計画、禅宗寺院に  
一方、文化の香り高い都市  
景観を研究している街の色  
研究会・京都(代表・秋田

一) 第二弾、名付けて「サ  
ウンドスケープ in 東山・  
高台寺—夢ひびき」。同寺は現在、豊臣秀吉と  
北政所をまつる靈屋の修復工事を進めており、完成の  
来年三月から一ヶ月半、夜トアップで京都らしい照明



観光寺院などのライトアップが関心を集めている中で、京都デザイン協会(本郷大田子理事長)は13日夜、京都市東山区の高台寺を舞台に、京都にふさわしいライティング

デザインの実験をする。寺院らしい音とも組み合わせ、桃山文化のかおる禅宗寺院に幽玄の世界と光のもてなし空間をデザインしてみようというユニークな試みだ。

禅寺らしい幽玄のライトアップに向けてコンピューターシミュレーションした高台寺の庭園

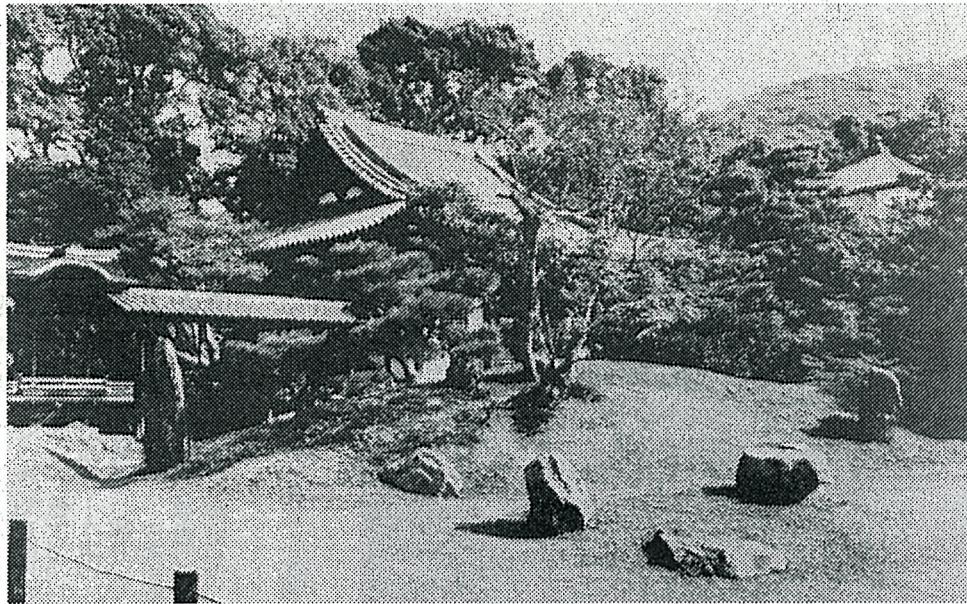
すでに同協会常務理事の奈良磐雄京都芸術短大助教授らが照明のコンピューターシミュレーションで検討を続けており、「京都の夜は暗い方がいい」という意見もあるが、ポイントには京都らしい光のもてなしがあるだろうし、京都らしいものを探索したい」という。高台寺の寺前淨因副執事は「観光だけならやらない。寺院の幽玄さをどれだけ引き出せるか期待している」という。

催しは市民の参加協賛で運営する計画で協賛金は一口五千円。八日までの申込

で実験的な試みに挑んだ。小川を立て、まず光のもうそくを立て、また光のもてなしで市民を迎える。小川はプログラムに協賛名が載る。申込先は同協会 75(541)02339。

者を検討してきた。こうしたことから今回、三者が組んで実験的な試みに挑んだ。小川を立て、まず光のもうそくを立て、また光のもてなしで市民を迎える。小川はプログラムに協賛名が載る。申込先は同協会 75(541)02339。

朝日新聞 一九九三年十一月十日(水)



## コンピューター・グラフィックス活用

# 桃山の華やかさに「光」

秀吉・ねねの「夢」再現へ

## ライトアップ・計画

### 高台寺庭園

東山の高台寺にある小堀遠州作の庭(国指定名勝・史跡)を、コンピューター・グラフィックスでデザインした照明で演出する構想が進められている。「街の色研究会・京都」の景観照明調査委員会(村上幸三郎委員長)が計画しており、十三日に同寺である「文化ナイトフォーラム」で披露される。

研究会は昨年十一月、研究者や照明機器メーカーの社員らで結成。市街地照明の調査などを進めてきたが、京都デザイン協会が音と光の演出を楽しむ「文化ナイトフォーラム」を高台寺で開くことを知り、これまで研究してきた景観照明の成果を試すには絶好の機会と、光の演出を申し出た。

照明はすべて間接照明にして落ち着いた感じを演出。開山堂などの建物は背景の樹木に光を当てシルエットで表現する。庭園のエデには色温度の低い光を、マツには高い光を当てて、赤と緑の補色関係を強

調。遠州の庭独特の岩石も遮光板で間接光を当て浮かび上がらせる。

同委員会の奈良磐雄・京都市芸術短期大学助教授は「最先端技術を駆使して、禅寺の持つ厳しさと、桃山時代の華やかさは今の世相に限に演出したい」。高台寺の寺前淨因副執事は「来年三月には修復中の靈屋が落成し、夜間拝觀を計画している。戦国を抜けた桃山時代の華やかさは今の世相にこそ必要。委員会の照明に期待している」と話している。

フォーラムは午後五時から同七時まで、尺八とピアノのデュオ「対偶(たいう)」によるジャズ演奏もある。参加費は五千円。

高台寺 秀吉の没後、その菩提(ぼだい)を弔うために夫人の北政所(きたのまんどころ)ねねが、慶長10年(1605)に創建した臨済宗建仁寺派の禅寺。靈屋(おたまや)、觀月台、茶室の時雨亭と傘亭など建築物の多くは、桃山時代の華やかさを伝えており、国の重要文化財の指定を受けている。

市民団体 13日、フォーラムで披露

京都新聞 1993年11月13日 (土)

京都デザイン協会(本部) 研を行ひ、禪寺の幽玄の世界を浮かび上がらせた。大田子理事長と街の色研究会・京都(代表・秋田宗平京都芸術大学教授)は十二日、京都市東山区の高台寺で、「京都ふざわいいき」に向けて、ライティングデザインの実験を行った。

## ライトに浮かぶ高台寺

# 幽玄の世界鮮やか演出



幽玄の世界が浮かび上がった高台寺の方丈前庭

究委員会(村上幸三郎委員長)に任せて実施した。朝から同委員会のメンバー約十五人がコンピューターシミュレーションで設計した位置にライトを置き、夕暮れとともに遠景から絵を描くように点灯していった。何度も微調整を繰り返し、見せ場の紅葉を鮮やかに浮かばせ、奥行きのある庭を演出。また音の舞台となる前庭に幽玄の舞台を作り出した。このあと全員で印象調査のアンケートをして実験の評価を行つた。

毎日新聞 1993年11月13日 (土)

大田子理事長と街の色研究会・京都(代表・秋田宗平京都芸術大学教授)は十二日、京都市東山区の高台寺で、「京都ふざわいいき」に向けて、ライティングデザインの実験を行つた。

# 光の空間に シズの演奏

サウンドスケープ in 東山

きょう、高台寺

特徴的なライトなどが演出する光を組み合わせたイベント「サウンドスケープ in 東山・高台寺」を開催する。

特徴的なライトなどが演出する光の空間の両方を楽しもうというもの。

問い合わせは同デザイン協会事務局(075・541・0239)。

ピアノと尺八のジャズ演奏  
京都デザイン協会(本部  
大田子理事長)は13日午後5時~7時、京都・東山の高台寺でピアノと尺八によるジャズ演奏の会、「サウンドスケープ・イン・東山・高台寺」を開催する。

ピアノは西山靖夫、尺八は川村泰山の演奏。同寺の境内は普段は夜間入場禁止となっているが、同寺の協力でこの日だけは特別に許可された。また、ライトアップされた夜の高台寺境内も見ものである。入場は協賛金形式で、一回五千円。同催しは昨年の三千院でのハーフ演奏会に続く「文化ナイトフォーラム」第二弾・問い合わせは同協会事務局、電話075・541・0239番。

続 五升 乗 尾

1993年(平成5年)11月11日

木曜日

# 夢 ひびき

■入場券■

第二回(社)京都デザイン協会主催 文化ナイトフォーラム  
サウンドスケープ in 高台寺

古都千二百年

とき ○平成五年十一月十三日(土)  
午後五時～七時まで「雨天開催」

ところ ○東山・高台寺(方丈)  
プログラム ○ひと口五千円  
協賛金 ○高台寺執事長  
○奉納演奏 / 後藤正元(たいぐう)  
○奉納演奏 / 尾崎(たいぐう)

西山靖夫(ピアノ)  
川村泰山(尺八)

主催 ○社団法人京都デザイン協会  
協賛 ○高台寺  
財団法人平安建都千二百年記念協会  
街の色研究会・京都／京都若衆会

\*当日は季節柄、暖かい服装でおこしください。

